

# 飯南町立赤名小学校で「心に残る文化財子ども塾」を行いました

## 1. 活動の概要

6月6日(木)、飯南町立赤名小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催し、島根県文化財課世界遺産室・島根県埋蔵文化財調査センターの職員がおじゃまし、元気な6年生 14名のみなさんと楽しく活動しました。

はじめに、赤名の歴史について学習しました。講師から、飯南町内にはたくさんの遺跡や文化財があることを聞き、みんなびっくりした様子でした。そして、縄文時代の土器や江戸時代の丁銀をじかにさわって興奮。教科書には書いていない身近な地域の歴史にふれることができました。また、遺跡の発掘に大変興味を抱いたようで、発掘体験に参加してみたいと話す児童さんも多くいました。

続いて、金属鏡作りを体験。最初に古代の鏡について説明を聞き、グループに分かれて鏡作りを始めました。グループのみんなが声を掛け合いつつ、鑄型に金属を流し込む際には協力し合いながら作成していました。鑄型から鏡を取り出した後は、みんな一緒に鏡を磨きました。中には職人技のようにピカピカに磨き上げる児童さんもいて、周りからは羨望のまなざしを浴びていました。みんな一生懸命、鏡を磨いていましたが、紙やすりや研磨剤といった便利な道具を使っても大変な作業であることが伝わったようで、古代の鏡作りにいっそう興味を抱いた様子でした。

赤名小学校の6年生のみなさん、ありがとうございました。

## 2. 活動の様子

地元(赤名)の歴史について学習



江戸時代の銀の貨幣を触ってみよう



縄文土器に触る前に説明を受けます



金属鏡作りに挑戦



材料の低融点金属を溶かします



ピカピカになるまで鏡を磨き上げます



### 3. 子ども塾を終えて

#### 1) 児童の皆さんのアンケートから…

- ・銅鏡作りがとても楽しかった。鏡磨きが一番心に残った。昔の人の活動を体験できてよかった。(複数)。
- ・縄文時代の土器に触ることができてよかった。江戸時代の銀のお金が意外と重かった。
- ・古墳にまつわるイベントや発掘体験に参加してみたい(複数)。
- ・縄文土器のデザインに興味を抱いた。
- ・自分で土器を作ってみたい。
- ・意外と飯南町にも遺跡があってびっくりした。赤名にいつ頃から人が居住していたのか、どのような暮らしをしていたのかといった詳しいことが知りたい(複数)。

#### 2) 担任の先生から…

- ・縄文土器や丁銀を実際に触ることができた。
- ・鏡作りから昔の人の苦勞(技術)を知ることができたと思う。
- ・発掘体験に参加したいと話す児童もいた。今後、発掘体験への参加や発掘の様子の見学を希望することも検討したい。